

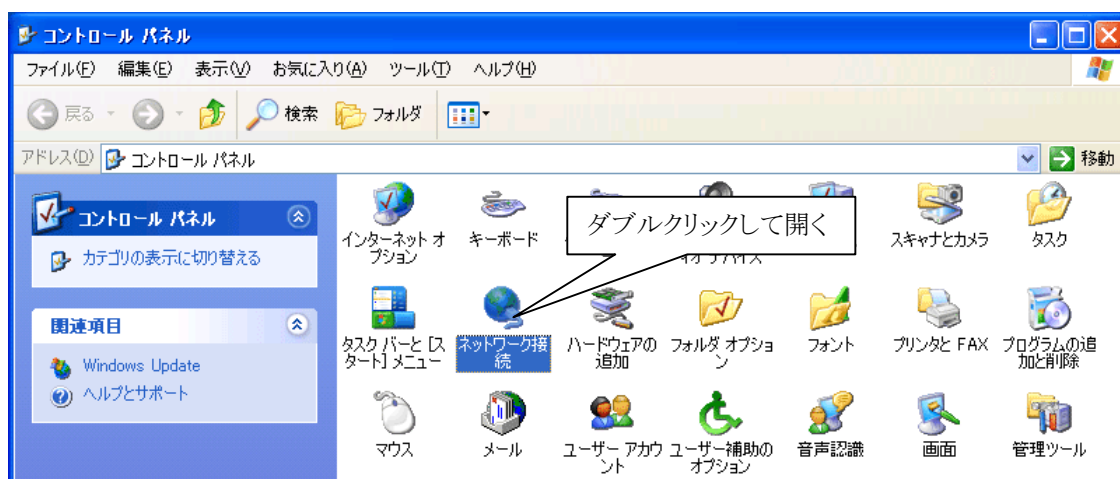
# WindowsXP で接続先ネットワークを簡単に切り替える方法

職場と自宅などノートパソコンを複数のネットワークに接続したいということがありませんか。WindowsXP には代替構成機能が用意されており、DHCP サーバが存在する環境では自動的に与えられた TCP/IP アドレスを使用し、DHCP サーバが存在しない環境では別の TCP/IP アドレスでインターネットに接続するという使い方をサポートしています。この代替構成機能を利用すれば、職場でのイントラネット接続と自宅でのインターネット接続を簡単に切り替えられるようになります。今回はこの代替構成機能を利用するための手順を紹介します。

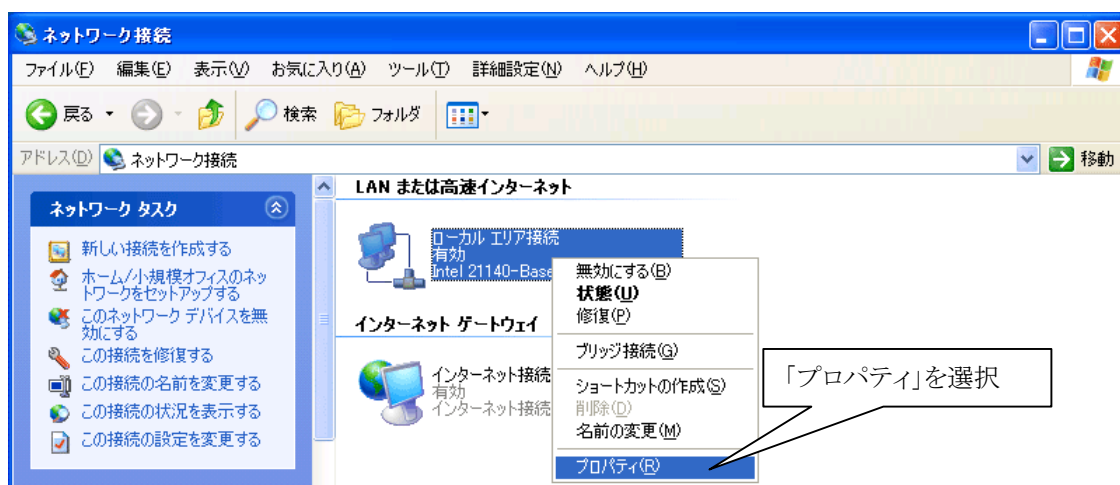
〈注意〉この方法が有効なのは以下の条件をすべて満たす場合です。

- ・主たる接続先ネットワークには DHCP サーバ（一般的にルータが存在する場合は、そのルータが DHCP サーバ機能を提供します）が存在し、自動的に割り当てられた IP アドレスを利用している。
  - ・従となる接続先ネットワークには DHCP サーバが存在せず、固定の IP アドレスを利用している。
- 従って、主たる接続先が固定 IP アドレスで運用されている場合は、代替構成機能は利用できません。

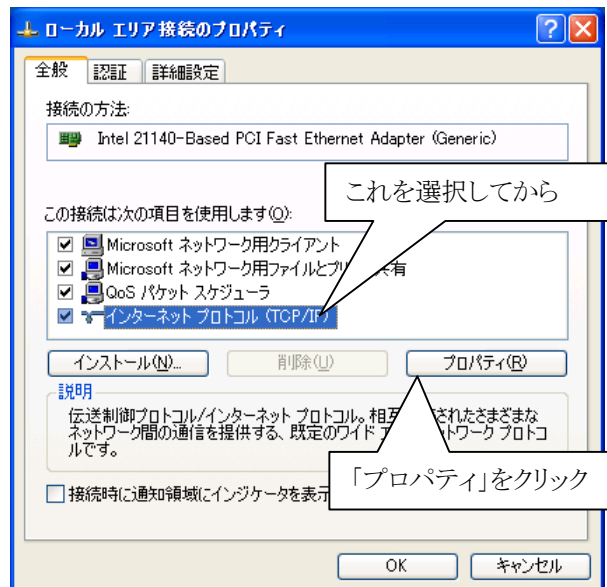
①コントロールパネルの「ネットワーク接続」をダブルクリックして開きます。



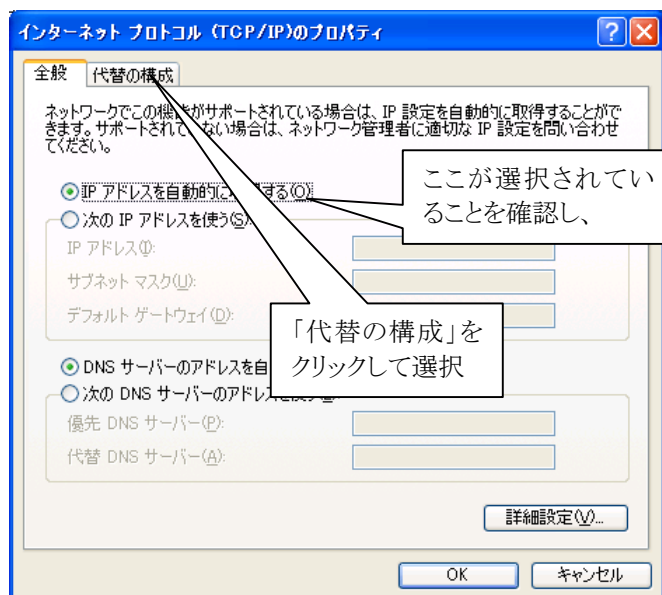
②以下のような「ネットワーク接続」ウィンドウが表示されますので「ローカルエリア接続」を右クリックして、「プロパティ」を選択します。



③以下のような「ローカルエリア接続のプロパティ」ダイアログが表示されますので、「この接続は次の項目を使用します」欄から「インターネットプロトコル (TCP/IP)」をクリックして選択し、「プロパティ」ボタンをクリックします。



④「全般」タブから「IP アドレスを自動的に取得する」が選択されていることを確認してから、「代替の構成」タブをクリックして選択します。ここで「次の IP アドレスを使う」が選択されている場合 (つまり固定 IP アドレスが指定されている場合) は、「代替の構成」のタブが表示されません。



⑤「代替の構成」タブから「ユーザー構成」を選択し、「IP アドレス」「サブネットマスク」などの情報を入力して「OK」をクリックします。以上で設定は完了です。

